

2026-2027

■本日のロータリーソング
君が代、四つのテスト

WEEKLY BULLETIN

9月3日(木) 第8号
第3171回 例会

札幌東ロータリークラブ TODAY'S PROGRAM

それって節税?脱税?危険な状態になってませんか?

みんなの合同会社代表社員元札幌国税局調査官 阿部卓磨氏



みんなで幸せになる福祉づくり

社会福祉法人北海道友愛福祉会 法人理事長 市川茂春氏

本日は福祉の専門的な話ではなく、スタッフの働き方について取り組みを中心にご紹介いたします。

まずは、自己紹介ですが、出身がホタテで有名な道北の猿払村です。趣味はサウナで年間130日ほど通っております。職歴としては、介護士、ソーシャルワーカー、ケアマネージャー等の専門職を行っていましたが、今は法人の理事長ということで、2022年から経営に携わらせていただいております。前理事長が、ロータリーアンということで2022年にロータリーに入会いたしました。

法人の概要です、事業所がある江別市は人口が11万7千人ほど、名産品が煉瓦です。ほどよく田舎ですし、新鮮な野菜も手に入り札幌に隣接しながらも、スローライフが楽しめる素敵な街であります。事業の紹介です、現在江別市内の6つの拠点で34の福祉事業を展開している今年で53年目を迎える社会福祉法人です。現在の職員の数は460名です。普通の社会福祉法人と違う点として、タクシー事業や、福祉のレンタル、居住支援法人、死後事務委任委託契約といって身寄りのない方がなくなれた後の手続きを代行するサービスをしていたり、様々な取り組みをしており、子供やお年寄り、障害者の方々への福祉事業を行っています。

施設内の様子の紹介ですが、特別養護老人ホームというところは、個室と4人部屋で分かれていますのですが、4人部屋の方が人気です。何故かという、ブースで区切り個別の空間が確保されていてプライバシーも守られているので、プライバシー対応型の多床室になります。料金が多床室価格ということで収入に応じ5万円から11万円で入居できて、部屋代、食事代、介護代が含まれており、非常にリーズナブルなのが人気の理由です。

デイサービスについては、今どきのカフェをイメージしています。ターゲットが団塊の世代ということで、コンセプトを音楽と珈琲としました。人生が音楽と共にあった世代、喫茶店ブームもあった団塊の世代なので、レコードを聴きながら珈琲が楽しめるというコンセプトです。レコードについては声掛けをしたところ4000枚くらい集まりまして、昔懐かしい音楽が流れています。珈琲やアイスクリームを自由に食べられたり、その他、ドライヤーやシャワーがReFaだったり今どきのデイサービスを展開しています。

地域貢献活動も行っています。毎年開催している秋祭りには、毎年5000人程来場いただいております。我が江別西RCも社会奉仕活動として参加していただいております。綿あめやヨーヨー、野菜も無料で配り、ポリオ寄付の受付をしたりもします。コロナの頃にお祭りが無くなり、そんななか子供たちを楽しませたいという気持ちで無料で毎年開催しています。

当法人としては子育て支援や、紙芝居、手作りの雑貨を売るこ

とをしています、キッズボランティアとして子供たちにも手伝ってもらっています。放課後自分の意思で来てくれていて、年間1400名くらい来てくれています。ごみ集めや、レクの手伝いをしてくれています。何故こんなにも来てくれるのかと言いますと、1回来るとスタンプを1つもらえます。5回来ると1回ガチャガチャを回せる仕組みになっています。低学年の時期に自分の意思でボランティアをすることはすごく大切なことかと思えます。施設のアルバイトを募集すると、昔ボランティアに参加していた子供たちがアルバイトで施設に帰ってきてくれたり、高校を卒業した後に、就職先として考えてくれる、福祉業界という人材不足の問題がありますが、我々の法人には、新卒者が毎年20人以上入社します。

みんなで幸せになる福祉・介護についてですが、福祉・介護は、人を幸せにする仕事です。そのためには、利用者やご家族だけでなく、支える職員自身も幸せに働けることが大切であると考えます。私たちは、「利用者・家族・地域住民・スタッフ、みんなが幸せになる福祉・介護」を目指し、楽しく健康に働ける職場環境や働き方の改善に取り組んでいます。

取り組みの一つとして、子育てスタッフが活躍できる職場というものについてご紹介します。産休・育休からの復帰支援や柔軟な働き方に加え、子育て中の職員を中心とした「介護連携チーム」を設置しています。食事・入浴のピークタイムや急な欠員など、部署を越えて現場を支援する仕組みです。「子育て中だから支援される人」ではなく、子育てをしながらでも力を発揮し、チームに貢献できる職場を目指しています。また、勤務時間の長さだけで能力を判断せず、子育て経験そのものも一つのキャリアとして考えています。

健康に働ける環境づくりについてですが、職員が心身ともに健康で働けるよう、腰痛予防、メンタルヘルス研修、時間外勤務の削減、有給休暇取得、ハラスメント対策、外部相談窓口の設置などを進めています。また、利用者・ご家族からのハラスメントについてもルールを明確にし、職員が安心して介護に向き合える環境づくりを大切にしています。

私自身が大切にしていることとして、福祉は「人」に始まり、「人」に終わると思っています。介護サービスの質は、そこで働く職員の力によってつくられます。利用者を大切にすることはもちろん、その利用者を大切にしてくれる職員も同じように大切にしたいと思います。地域も人、利用者も人、スタッフも人。人と人とのつながりの中に福祉があります。これからも、利用する人も、働く人も、その家族も、地域の人も、みんなが笑顔になれる福祉を目指していきます。

持続可能なインパクトを生み出そう

2026-2027 年度 国際ロータリー会長のメッセージ

国際ロータリー会長:オンラインカ・ハキム・ババラ

THE ROTARY CLUB OF SAPPORO-EAST WEEKLY BULLETIN

第2510地区
Rotary
札幌東ロータリークラブ

